

(別紙) 栽培計画書

栽培名	高オレイン酸含有並びに除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤及びグリホサート耐性ダイズ (<i>gm-fad2-1</i> , <i>gm-hra</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (305423×40-3-2, OECD UI: DP-305423-1×MON-04032-6)の展示栽培
実施場所	デュポン株式会社
公表年月日	平成 24 年 4 月 23 日
1. 栽培の目的・概要	
(1) 目的	
既に日本での安全性が確認されている 305423×40-3-2 系統の展示栽培です。	
(2) 概要	
本栽培は、デュポン株式会社宇都宮事業所内の隔離ほ場において、平成 24 年 4 月から平成 24 年 9 月に行う予定です。また、ダイズの品種改良の歴史をご覧いただくため、ダイズの祖先種と考えられているツルマメ、日本のダイズ品種、米国の非組換えダイズも栽培します。	
2. 栽培に使用する作物	
(1) 作物の名称	
高オレイン酸含有並びに除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤及びグリホサート耐性ダイズ (<i>gm-fad2-1</i> , <i>gm-hra</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (305423×40-3-2, OECD UI: DP-305423-1×MON-04032-6)	
(2) これまでの安全性評価の経緯	
平成 22 年 7 月： 組換え DNA 技術応用飼料及び飼料添加物の安全性確認の手続き終了 平成 24 年 2 月： 遺伝子組換え食品及び添加物の安全性審査の手続き終了 平成 24 年 3 月： カルタヘナ法（遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律）に基づく第一種使用規程（食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為）の安全性審査の手続き終了	
3. 栽培予定期間	
平成 24 年 4 月～平成 24 年 9 月。	
平成 24 年 4 月 : 播種 平成 24 年 6 月～8 月 : 見学会実施 平成 24 年 9 月 : 栽培終了及び展示栽培植物の撤去	
4. 栽培区画の面積及び位置	
(1) 第 1 種使用規程承認作物の栽培規模： 2.7 m ²	
(2) 栽培区画の位置： 栃木県宇都宮市清原工業団地 19-2 デュポン株式会社 宇都宮事業所内の隔離ほ場	

5. 栽培終了後の使用規程承認作物の処理方法

栽培終了後の植物体は、鋤き込み処理を行います。

6. 栽培に係る情報提供に関する事項

本展示栽培に係わる連絡先：

デュポン株式会社 バイオテクノロジー事業部

電話番号：03-5521-2476

FAX 番号：03-5521-2388

E メール：DuPont.Biotech@jpn.dupont.com